

1. 外国籍生徒の話した時間：4分30秒 / 10分
2. 話しかけるまでの時間：5秒（外国籍生徒から）
3. 話題：検証中（10分間）に外国籍生徒と日本国籍生徒の間で行われた会話の内容
 - 休日の過ごし方について
 - 新型コロナウイルスについて
 - ペットについて
 - 外国籍生徒の出身地について
4. 外国籍生徒へのアンケート結果
 - A) 感想

違う文化を持つ人と関わることができた興味深い経験だった。
 - B) 日本国籍生徒とスムーズに会話することはできたか

彼らとはまあまあ簡単に話すことができた。
 - C) なぜそう思うのか

英語の知識はかなりあったが、日本語のアクセントが原因で理解するのに苦労することもあった。
 - D) 日本国籍生徒の印象

彼らは全員優しく、親切だった。
 - E) どうしたらこの機会をもっと楽しめたと思うか

特にない。
 - F) 日本国籍生徒と会話する際に障壁だと感じたこと

言語。たまに何を言いたかったのが理解できないことがあったが、画面越しに会話したことも一つの原因だったと思う。
 - G) 違う言語を話す人と会話するときに大切だと思うこと

明らかに言語の知識。でも、アクセントもすごく重要だと思う。
5. 日本国籍生徒へのアンケート結果
 - A) 感想
 - ・新しいスタイルの検証だったので楽しく参加できました。
 - ・途中から転入生役そっちのけで話していた気がしてやばいと思いました。
 - ・どんな話題を振ればよいのかわからなかった（海外の人にとってどんな話題がタブーなのか、どんな話が楽しいのかなど）。3人以上の人がグループにいると誰から話しかけるのか、誰が反応するのか迷う（国籍関係なくグループワークだとういうのはよく困る）。

・タイミングが分からなくて、あまり話せませんでした。なかなかない経験をできて楽しかったです。

・もしこのようなケースが実際にあったらどう対応したらいいかがイメージできたいい機会でした。

6. 観察

沈黙もあまりなく、外国籍生徒と日本国籍生徒のどちらも話す話題を持ちかけていた。あまり話さない日本国籍生徒もいたが、そのような日本国籍生徒はその分相槌を打つなどと、英語が完璧じゃなくても態度が伝わるようにしていた。また外国籍生徒が会話に入れていなかった時もあったが、気づいた日本国籍生徒が外国籍生徒に返答を求めることもあった。